

旧大庄村 [尼崎市立大庄南生涯学習プラザ]

2024年11月13日(水) 阪神尼崎センタープール駅に集合

講師 桃谷和則先生 [尼崎市歴史博物館]

構造 鉄筋コンクリート 地上三階地下一階 [塔屋二階]

建築 昭和12年11月 設計 村野藤吾



外観は見る方向により
建物の形状が違う。

正面は箱型のブロック
を組み合わせた形

裏面は水路 [現道路]
に合わせた外壁が円弧
を描く



← 塔屋の天井には
レリーフが散り
ばめられています

「階段の魔術師」村野
の曲線の階段 →



室戸台風からの復興を
イメージした外壁の「ノア
の方舟」のレリーフ→



新庁舎として特徴的建物は全国的に注目され
昭和 13 年発行のアサヒグラフに「これで村役場」と取り上げられています。



大庄村は昭和初期までは寒村でしたが、臨海地域の大幅な埋め立てにより大工場が進出し、巨大な村となり、財政も豊かでこのような庁舎を建設する余裕があったのです。
しかし昭和 17 年には尼崎市に統合されてしまいました。西隣の鳴尾町と合併し「武庫川市」となる構想もあったようです。当時の人口は 4 万 8 千人でした。



← 二階の貴賓室
歴代村長の写真が
飾ってあります。

屋上からの風景→
尼崎はずっと平地です



午後からは各班に別れて、同じく村野藤吾設計の尼崎市役所や、新築の尼崎城の見学に向かいました。